

性能表示

【Soilish】

日本建築仕上材工業会登録

登録番号

2508013

放散等級
区分表示

F☆☆☆☆

問い合わせ先

http://www.nsk-web.org/

【Soilish専用下地材】

日本建築仕上材工業会登録

登録番号

2508015

放散等級
区分表示

F☆☆☆☆

問い合わせ先

http://www.nsk-web.org/

無石綿

業務用

試験成績

【試験実施 令和6年10月】

項 目		単位	試験結果			備考
耐摩耗性 摩耗減量※1	回転数	g	Soilish浸透性強化材 未塗布	Soilish浸透性強化材 塗布	1:3 モルタル	テーパー式 摩 耗 輪:H-22 試験荷重:500g 回転速度:60rpm 材 齢:14日
	600		3.41	2.60	3.95	
	1200		5.12	4.48	6.28	
標準付着強さ		N/mm ²	1.20			JIS A 6916 建築用下地調整塗材に準ずる。 ただし下塗材にSoilish下塗材を用いた。
温冷繰返し後の付着強さ		N/mm ²	1.64			
曲げ強さ		N/mm ²	6.9			JIS A 1171 ポリマーセメントモルタル の試験方法に準ずる ※ただし脱型後は養生終了まで 気中養生とした。
圧縮強さ		N/mm ²	35.0			
長さ変化率		%	0.09			

※1 摩耗減量は、数値が小さいほど耐摩耗性に優れていることになります。
上記の値は、定められた環境下および方法によって測定されたものであり、施工現場においての保証値ではありません。

注意事項

- ・本製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。
- ・施工前には必ずカタログに記載の施工要領及び安全データシート等をよく読み、注意 safety を十分に理解した上で施工を行ってください。
- ・Soilishの品質保持期間は、製造後約3ヶ月です。
- ・Soilishには水道水及び弊社が指定するもの以外のものは混ぜないでください。
- ・Soilishの練り置き時間は約20分です。また、水を加えての練り返しや練り足しは避けてください。
- ・伸縮目地の設置間隔は、コンクリートのひび割れ誘発目地部分または約3mおきに設置してください。
(伸縮目地で囲まれた面積が10㎡以下になるようにしてください)
- ・色差や段差ができないよう、一つの面で縁を切らずに連続して施工してください。
- ・Soilishの練水量が多いと、クラックや色ムラの原因となりますので十分に注意してください。
- ・Soilish及びSoilish下地材はアルカリ性です。変色の恐れがあるためチリ廻りや幅木、サッシ等の養生は確実に行ってください。
- ・水を含ませたスポンジを使用するため、水含みが多かった時は色が若干白くなる場合がありますので、拭き取りの水量には十分に注意してください。
- ・拭き取り時のスポンジの水は常に清水を使用してください。
- ・直射日光や降雨などに十分に注意し、施工後約1週間程度は養生を行ってください。
(必要であればシート養生等を行ってください)
- ・施工後約1週間程度は、ものを設置したり歩行や作業は行わないでください。
もし必要な場合は敷板等で養生し、局部的に力加わらないようにしてください。作業後は直ちに養生を取り除いてください。
- ・Soilish及びSoilish下地材の保管は、直射日光や湿気を避け、パレット等で地面から離して保管してください。
- ・Soilishは天然素材を使用しているため、施工時の季節や天候、製造ロット等の条件により色合いが多少異なる場合があります。
- ・本施工前に1㎡程度のコンパネに実際と同じ色調パターンにて、テスト施工を行い、仕上がりの確認、検討をされることをお勧めします。



Soilish

Diatomaceous earth-honed floor finishing material

伝統の「床たたき」をもっと手軽に。

錫 (Suzu)

水を流さず石目が出せる新工法で、
室内の土間仕上げも可能な新感覚床塗材。

Soilish

ソイリッシュ

次世代たたき風仕上材 珪藻土配合



錫 (Suzu)

・標準施工面積: 1㎡/set (10mm厚)

1 健康的な癒しの空間を演出

特徴

珪藻土を配合した仕上材。玄関や土間などに優しい土の質感をプラス。
健康的で、どこか懐かしい癒しの空間を演出します。

2 手軽な施工、本格的な仕上がり

特徴

一般的な「たたき」は専門的な知識や経験が必要で、時間と手間がかかるのに対し、
Soilishではたたきの風合いを残しつつも、新工法により手間と時間の短縮を実現しました。

3 割れや摩耗に強く、高品質

特徴

Soilishは最新の研究成果を元に配合し、素材のみならず使用する副資材においても、
実績のあるプロ用の材料を採用。どんな現場仕様にも柔軟に対応可能です。

Color variations

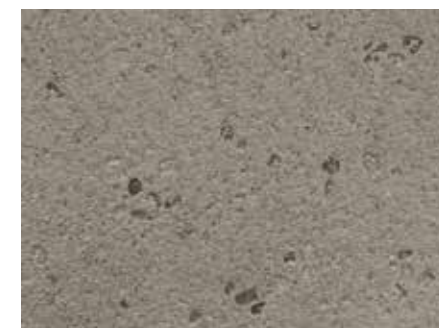
※実物の色味と異なる場合がございます



標準色: 雪灯 (Yukiakari)



標準色: 和 (Nagomi)



標準色: 錫 (Suzu)



特注色: 灯火 (Tomoshibi)



雪灯 (Yukiakari)



和 (Nagomi)



灯火 (Tomoshibi)



錫 (Suzu)



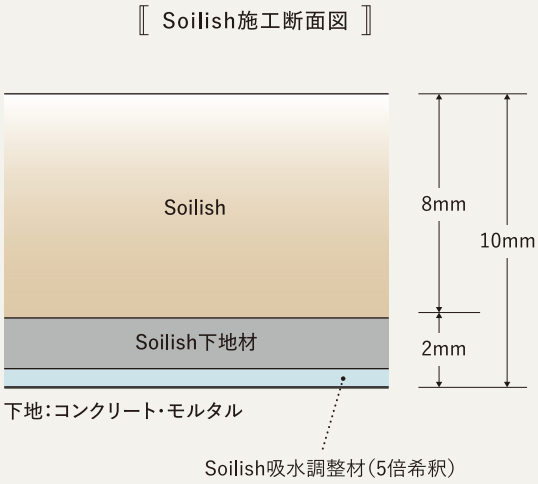
錫 (Suzu)

推奨下地…コンクリート及びモルタル

- 推奨下地以外の下地への施工はお控えください。
- 車の通る箇所への施工は、割れや削れの原因となりますのでお控えください。
- 1点に荷重が集中するような物の設置や引きずりは、割れやえぐれの原因となりますのでお控えください。
- バイクや自転車のスタンド等も、割れやえぐれの原因となりますので、駐輪場への施工もお控えください。

施工前の注意事項

- 事前に施工場所を確認し、水勾配(排水)の設計を適切に行ってください。
- 常に水掛かりがある場所は、コケやカビが発生する事があります。
- 階段や段差等の出隅箇所は、欠ける恐れがあります。
- 頻繁に物がぶつかったり物を引きずったりする箇所は、他の箇所よりも削れやえぐれが発生しやすくなります。
- 油汚れ等の染み込む汚れは、除去しにくくなることがあります。
- 乾燥養生時を含む気温が、5℃以下及び5℃を下回りそうな時は、施工をお控えください。
- 下地が十分に乾燥しているのを確認し、施工を行ってください。



1 | 下地処理(素地調整)

コンクリート下地

- 施工後の色ムラやクラック等の原因となりますので、コンクリート打設後は2週間以上養生を行ってください。
- 施工前日に降雪や夜露などの可能性がある場合は施工面が濡れないよう、シート養生を行ってください。
- レイタンス、ゴミ、油脂類等が表面位付着している場合は、高圧洗浄機、サンドペーパー、ウエス等で除去し、清掃を行ってください。
- 表面の極端な凸部はサンダーで除去し、脆弱部分は必要であれば補強を行い、木ゴテ仕上げとしてください。
- 極端な段違いや凹部は、ポリマーセメントモルタルを充填し補修してください。
- 鉄筋が見えている場合は、必ず錆止めを行ってください。
- 大きなクラックがある場合はVカットし、ポリマーセメントモルタルを充填し補修してください。

モルタル下地

- 下地のモルタルは木ゴテ仕上げとしてください。
- 施工後の色ムラやクラック等の原因となりますので、モルタル塗り付け後は1週間以上養生を行ってください。
- 施工前日に降雪や夜露などの可能性がある場合は施工面が濡れないよう、シート養生を行ってください。

2 | 伸縮目地設置(区分施工が必要な場合)

伸縮目地の設置箇所

伸縮目地の設置間隔は、目地で囲む面積が約10㎡以内(約3m間隔)で設置してください。また、コンクリートのクラック誘発位置にも設けるようにしてください。

伸縮目地の設置方法

埋め込み目地(真鍮目地 等)を使用する場合

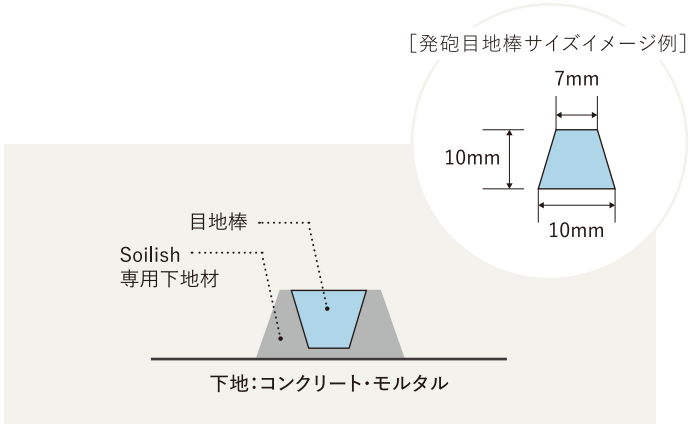
- ・ 真鍮目地棒をしっかりと固定してください。真鍮目地棒は、幅5mm程度のものの使用をお勧めします。



目地棒除去後、Soilishで埋め戻す場合

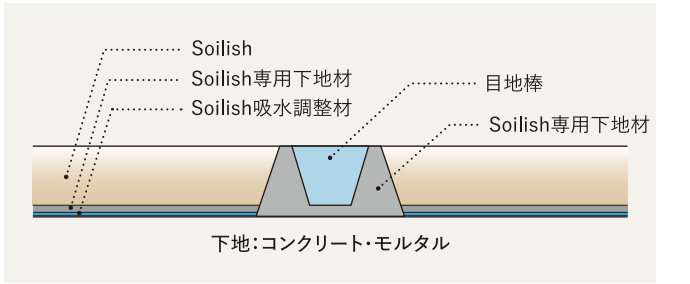
1 目地棒の取り付け

- ・ Soilish専用下塗材で、目地棒を取り付けてください。
- ・ 目地棒として発泡目地の使用をお勧めします。



2 Soilish施工

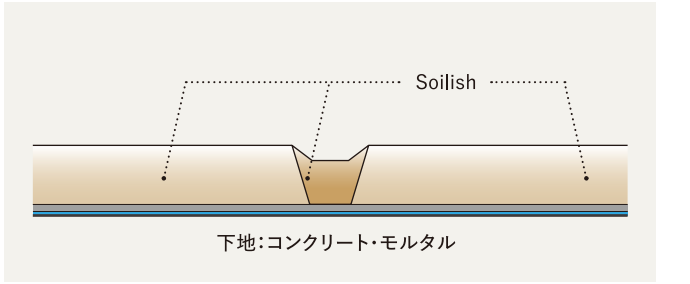
目地棒を取り付けた翌日、Soilishの施工を行ってください。



3 Soilish埋め直し

目地棒を取り除いた後、ふるって荒い骨材を取り除いたSoilishを目地部分に塗り付けてください。

※深目地にするか、面一にするかは、各現場でご判断ください。



3 | 吸水調整

- 塵や粉塵は事前に掃除機やブロアーで除去してください。
 - Soilis吸水調整材の5倍液(吸水調整材1: 水道水4)を作ります。
 - 左官刷毛を使用し、施工面全面に満遍なく塗布し、吸水調整を行ってください。
 - 吸水調整材を塗布した下地表面を完全乾燥させます。
- ※ 目安2～4時間
※ 施工時期、施工場所、気象状況、下地の状況等により異なります。)
- ※ ドライアウトによる硬化不良を防ぐため、吸水調整は必ず行ってください。



4 | Soilish専用下地材塗り

- Soilish専用下地材(25kg /袋)に水道水4.5ℓを加え、ハンドミキサー等を使用し、十分に混練してください。
 - Soilish専用下地材を塗り付ける際は、十分なコテ厚をかけてしごき塗りを行い、追っかけで約2mmの厚みまで塗り付けてください。
 - Soilishの上塗りは、専用下地材が完全に乾く前に追っかけで施工してください。
- ※ 目安30分以内 ※ 施工面を触って指につく程度が目安です。
※ 施工時期、施工場所、気象状況、下地の状況等により異なります。



5

Soilishの混練

- Soilish (15kg/袋) に水道水1.8ℓを加え混練します。その際はきれいな水道水を使用し、台秤または計量カップを使用して計量してください。
- 粘度調整が必要な場合、残りの練り水 (0.1~0.2ℓ/袋) を徐々に加えて、適度な硬さに調整してください。
- Soilishは、練り混ぜミキサーの違いにより、練り上がりの性状が変わるため、加水は1.8~2.0ℓの範囲で調整してください。（※施工軟度の目安としては、バサモルタルより少し軟らかい程度です。）
- 5分程度練り置き後、練り返してご使用ください。
- 同一現場においての練り水は、はじめに決めた水量で継続して計量してください。施工の途中で 練り水量が変わると、色ムラなどの原因となります。
- 練り水量が多いと、耐摩耗性の低下やひび割れなどの原因となります。また、仕上がりまでの時間が長くなりますので、練り水量は厳守してください。
- 練り置き時間は 20分以内とし、水を入れての練り返しや練り足しは絶対に避けてください。



※ 混練時間が長くなると、Soilishが必要以上に軟らかくなりますので、混練時間はトータルで2~3分程度としてください。
※ ハンドミキサーは、アルミ製のものは使用しないでください。
※ 練り上がったSoilishは、直射日光を避け、シート等を掛け水分の蒸発を防いでください。

6

Soilishの塗付

- Soilish専用下塗材を塗り付け後、下塗材が乾ききらないうちに追っかけにて、所定の厚み (8mm程度) まで、十分なコテ圧を掛けて金ゴテで平滑に塗り付けます。

※ 次工程以降は、直接仕上げ面には乗らず、スポンジ下駄を使用するか、敷板等の上に乗って施工してください。水を使用するバケツについても敷板の上に載せ、仕上げ面に水がかからないようご注意ください。
※ 施工後、時間を置いての補修は色ムラの原因となりますのでお控えください。



7

定木ずり

- Soilish塗り付け後、定木ずりを行い、平滑に整え、木ゴテでよくもみ込んでください。



8

玉石の散布と埋め込み

1

玉石の散布

- ・ soilishに湿り気があるうちに、玉石パック (0.2 kg) を散布してください。
- ・ 玉石の散布量は、お好みにより調整してください。

※ Soilishが乾燥してしまうと、玉石が馴染みづらいのでご注意ください。



2

玉石の埋め込み

- ・ 金ゴテを使用して玉石を埋め込み、軽く頭はりを行ってください。
- ・ 玉石がSoilishで少し被る程度まで埋め込んでください。

※ 玉石が馴染みにくくなった場合は、水を含ませたスポンジをかたく絞り、Soilishと玉石が馴染むよう、表面を軽くなでてください。
※ 次工程までは表面の湿り気がなくなる程度まで養生を行ってください。（スタイロフォームを敷いて上に乗れる程度）



9

スポンジ拭き取り (1回目)

- Soilishの表面の湿り気がなくなってきたら、かたく絞ったスポンジで円を描くようにして表面のノロ分を拭き取ります。
- 拭き取り具合で表面の砂目の出し方を調整してください。

※ スポンジ拭き取り時の水分が多いと、色ムラが発生する恐れがあります。
※ 使用するスポンジは、出来るだけ新しく凹凸が少なく平滑な物を使用してください。
※ 凹凸が大きく粗いスポンジを使用すると、仕上がりが粗くなる恐れがあります。



10

砂掃い (1回目)

- 後に拭き上げた時点から10~30分程度経過後、表面に残った砂くずを軽く取り除いてください。その際は、乾いた左官刷毛や毛先にややこしのあるナイロン製のほうきをご使用ください。

※ 強く掃くと表面が削れてしまいますので、注意してください。



11

スポンジ拭き取り (2回目 仕上げ拭き)

- Soilish表面の砂くずが乾燥してきたら (砂くずの色が白っぽくなってきます)、かたく絞ったスポンジで同一方向にきれいに拭き取り、砂目を出して仕上げてください。

※ 光の当たり具合によって見栄えが変わる恐れがあるため、スポンジで拭き取る際は、「同一方向」に拭き取ってください。
※ スポンジ拭き取り時の水分が多いと、色ムラが発生する恐れがあります。
※ 仕上げ拭きに使用するスポンジの水は、清水を使用してください。
汚れた水を使用すると、色ムラが発生する恐れがあります。
※ 拭き取りムラのないように十分に注意してください。



12 砂掃い(2回目)

- 表面の砂くずがある程度乾いたら、乾いた左官刷毛等を使用し、表面の砂くずを掃い、きれいにします。
- 翌日にも砂掃いを行ってください。

※ 巾木部分の清掃には、散り刷毛に水をつけて清掃しないでください。
※ 清掃に使った水が、Soilishの際(キワ)で白く変色する可能性があります。
 予め、養生しておいてください。



13 養生

- Soilish施工後、次工程までは3日以上養生してください。
- Soilish施工後に降雨雪の恐れがある場合、または、通風・日照の激しいときは、シート養生等の保護養生を行ってください。その際、シートが直接Soilishに触れないようにご注意ください。
- Soilish施工後、歩行や作業が行われる場合は、敷板等で養生し、局部的に力が加わらないようにしてください。
- 色ムラが発生する恐れがあるため、歩行や作業終了後は、ただちに養生を取り除いてください。

14 浸透性強化材の塗布

1 事前確認

- ・ 強化材塗布前に、Soilishが乾燥しているか確認して下さい。
- ・ 乾燥していない状況で塗布すると、変色や耐摩耗性が低下する可能性があります。
- ・ 目安としては、Soilish施工3日以上経過後、強化材を塗布するようにしてください。

※ 強化材塗布までの時間は、気象条件などにより異なります。

2 塗布

- ・ 乾いた左官刷毛を使用してSoilish表面の砂くずをはらい、きれいにしてください。
- ・ 強化材は、希釈せずに原液のままご使用ください。
- ・ 強化材は左官刷毛等で、しっかりとムラなく塗布してください。
- ・ 強化材塗布後、最低3日以上は降雨などの水掛かりに注意して養生してください。
- ・ 尚、養生時はSoilishに直接触れないようにしてください。

※ 標準塗布量は200~250g/m²です。
※ ロール等で塗布すると、標準塗布量以下になる恐れがありますのでご注意ください。
※ 強化材の塗布量が少ないと、色ムラになる恐れがありますのでご注意ください。
※ 強化材は「2回」塗布しないでください。
※ 強化材が乾燥する前に水掛かりがあると変色する可能性があります。
※ 養生期間は、気象条件などにより異なります。



強化材塗布時における注意事項

強化材塗布から10分程度経過後、強化材が残ったままですと変色する場合があります。その際は、乾いたスポンジを使用して強化材を吸い取ってください。

【悪い例】

Soilishの施工後3日以内に強化材を塗布すると、降雨後、白く変色する場合がありますので、必ず施工3日以上経過後に強化材を塗布するようにしてください。
※Soilishの表面が乾燥しているようにみえても、内部が乾燥していないこともありますのでご注意ください。

仕様・関連資材



Soilish (ソイリッシュ)

15kg 紙袋

標準施工面積
1㎡/袋 (塗厚8mm)



Soilish専用下地材

25kg 紙袋

標準施工面積
10㎡/袋 (塗厚2mm)



Soilish吸水調整材

1kgポリ容器/4kgポリ容器

1kg:33㎡/本(5倍希釈)
4kg:132㎡/本(5倍希釈)



Soilish玉石パック

200gポリ袋

粒径:4~6mm
指定量を散布



Soilish浸透性強化材

1kgポリ容器/4kgポリ容器

1kg:4~5㎡/本(原液塗布)
4kg:16~20㎡/本(原液塗布)

施工に必要な道具



金ゴテ



木ゴテ



スポンジ



左官刷毛